

彩の歳時記

平成二十三年

八月

「**心頭滅却すれば火もまた涼し**」は、中国・唐時代の詩人・杜荀鶴【846～904】の

かじつだいすこくうじょうにんいんしを

「夏日題 悟空上人院詩」の一節。「無念無想の境地に至れば火さえ涼しく感じられる」

の意。この語句が有名なのは、一五八二年、甲斐の国、恵林寺(武田信玄・柳沢吉保の菩提寺)で、織田勢に焼き討ちに合った寺の住僧の快川禅師(かいせんぜんし)が山門の上に端座し、燃え上がる火中で微動だにせず「**心頭滅却すれば火も自ずから涼し**」を末期の句としたことから有名に。三伏(さんぷく)とは「金をも伏せる火性の強い時期で夏至から三回の庚(かのえ)の日。今夏は、節電のため、このような心境の人も多いようですが、自粛過剰による健康被害も懸念されますので、程々に。

三伏用門披一衲
兼煮松竹蔭房庖
安禪不必須山水
滅却心頭火亦涼



八月の異称

葉月 木の葉が紅葉して落ちる月「葉落ち月」に因る。古くはハツキで俳句の季語は秋。

八月の暦

一日 八朔(はつき) 八月朔日(ついたち)の略。早穂が実るので、農民の間で**初穂**を恩人などに贈る風習が古くからあり、田の実の節句ともいう。「たのみ」↓「頼み」に掛け、武家や公家の間でも、日頃お世話(頼み)になってる人に、感謝し、贈物をするようになった。

東北の祭

復興に向け大変な時だからこそ、夏祭を変わらず行う。

「祭」や「花火」は、**鎮魂(魂を鎮める)**のためのものであり、自然の魂を鎮めるために行ってきたので、東北の厳しい自然の中で生まれたと言われる。多くの人々が被災地というのではなく、自分の国の姿を見つめ、応援するためにも訪れたいものだ。

仙台七夕まつり(宮城)	6日～8日
青森ねぶた祭(青森)	2日～7日
秋田竿灯まつり(秋田)	3日～6日
弘前ねぶた祭(青森)	1日～7日
盛岡さんさ踊り(岩手)	1日～4日
山形花笠まつり(山形)	5日～7日

六日 広島平和記念日 マスコミで毎年のように戦争・原爆について特集が組まれるが、今年は原子力発電所の問題を通して、自身の問題として捉える人も多いのでは。

八日 立秋【二十四節気】

暦の上では、この日から**秋**だが、一年で一番暑い頃。



暑中見舞いはこの前日まで、この日以降は残暑見舞い。

九日 長崎原爆記念日 広島市は六日を「ヒロシマデー」A・A=After Atomic、長崎市は九日を「ナガサキデー」として原爆・核兵器廃絶を求めるパレードや記念行事等の開催を世界に呼びかけている。

十五日 終戦記念日 戦死者は約22万人、空襲による死者は約2万人の犠牲を無駄にしないようにと。

月遅れのお盆

この日の前後に長期休暇をとる企業が多い。

十六日

大文字五山送り火 今夏、東日本大震災の犠牲者を追悼する。

被災者が書いた**護摩木(ごまぎ)**をたいて供養し、復興を祈る。

五山送り火で特定の災害の犠牲者を追悼するのは初めて。

二十三日

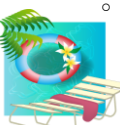
処暑【二十四節気】 暑さが終わるという意味。



八月の歌

恋のバカンス 詞 岩谷時子【1916～】 曲 宮川泰【1931～2006】

東京オリンピックの前年・昭和三十八年(1963)にザ・ピーナッツの歌唱によりヒット。純粹な日本の曲だが、歌謡曲としては、かつて無かった4ビートを生かしたスイング感溢れる楽曲で国外でもヒット、イタリアのカテリーナバルレンテ版は最もポピュラー。この歌のヒットでフランス語の「バカンス(Vacance)」が流行語になり、経済成長期にあった日本人の休暇に対する意識に影響を与えた。因みに同年ヒットした曲に「こんにちは赤ちゃん」「高校三年生」「見上げてごらん夜の星を」など。



ため息の出るような
あなたのくちづけに
甘い恋を夢見る乙女ころよ
金色に輝く 熱い砂の上で
裸で恋をしよう
人魚のように
*陽にやけた ほほよせて
ささやいた 約束は
ためいきが 出ちゃう
ああ 恋のよろこびに
バラ色の月日よ
はじめてあなたを見た
恋のバカンス *Repeat